

志光通信

令和五年
春彼岸(4月号)

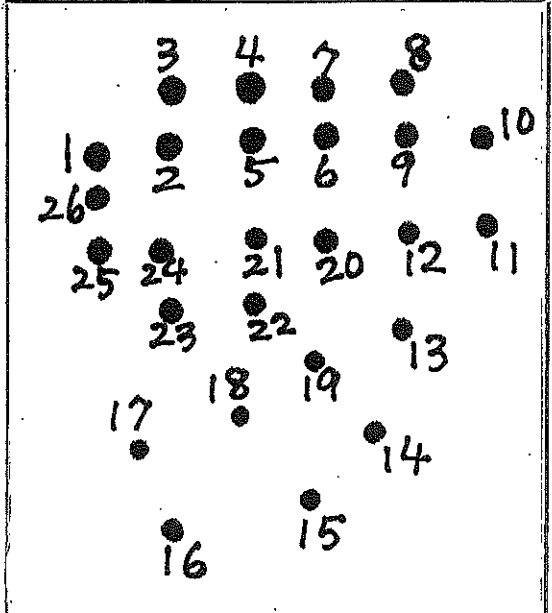
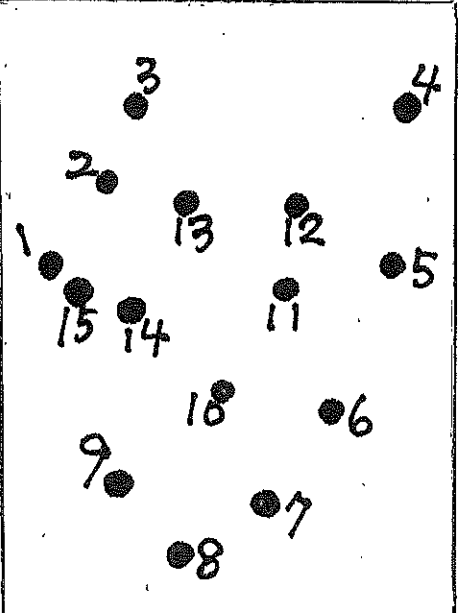
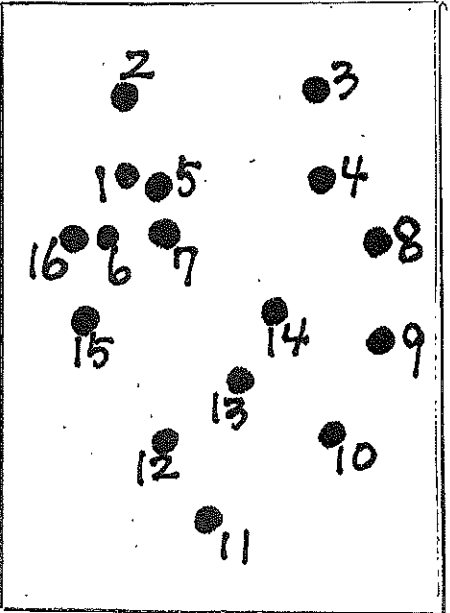
春が来た 春が来た どこに来た
どこに来た 山に来た 里に来た
野にも来た 「はるがきた」より

春の気配を感じるとふと口ずさんで
しまう。先日気象予報士さんが春を
感じるのはまず光、そして音、最後に
気温で実感すると言っていました。
世の中や身の回りで色々なことが変化
していきますが季節もめぐり新年度
がもうすぐ始まりますね。

私、妙光の最近の悩みごとは老眼が進
んでいること。今まで見えていた小さい文字
がぼやけてくる。夜は見づらい。スマホの
絵文字の顔が笑っているのか怒っているのか
わからない。困ったものです。

昔、婦人会の皆さんと裁縫をしている時
「妙光さん、糸を針に通してもらえますか？」
「はい、はい。おまかせ下さい。」

と言っていた頃がなつかしく、人生の先輩の
お辛さ、ご苦労が身にしみています。
やはり目や耳で見たり聞いたりしてわか
っているようでも自分で体験経験しな
ければ本当の味はわからないものですね。
しかし、自分のことと受け止め、対処法や
乗り越え方やどのような経過をたどって
いくのかを人生の先輩から学ばせていただ
いておくと、あたふたせずに済むかもしれませ
ん。父母、親せき、まわりの諸先輩方の人生
から色々なことを学ばせていただこうと思
います。



1から順に点を線でつなぎ、
カタカナの文字の言葉を作
ってみましょう。



陽だまり法話

今年の節分、豆まき、されましたか？「鬼は外、福は内」のかけ声。ある地方では「鬼は内、福は内」と言うそうで、悪い鬼ばかりではないようです。鬼子母神（きしもじん）も善い鬼のひとり。今回は鬼子母神が善い神様になったいきさつをご紹介します。

インドに鬼神である鬼子母という一人もの鬼の子を持つ母がいました。鬼子母は邪神で、人間の住む町に行つては、幼児を奪い食い殺しておりました。町人たちはこれに憂えて、仏さまであるお釈迦様に救いを求めました。お釈迦様は人々の悲しみを憐れみ、鬼子母が留守の間に、鬼子母の末っ子であるブンガラを鉢の底に隠したのです。戻ってきた鬼子母は突然いなくなった我が子を死にもの狂いで七日間世界中をくまなく探し求めました。「自分の命よりも大切な我が子。一体どこへ」どうすることもできず、鬼子母はお釈迦様におたずねすることにしました。お釈迦様は

「お前は一人もの子どもがあるのにただ一人の子を失って悲しみ憂い苦悩している。ところが人間は子どもを一人、あるいは三人、五人であるのに、お前はその子どもを殺したではないか。」と悪行を厳しくいしました。鬼子母はやっと自らの悪事の罪をさと悔いました。

「ブンガラが戻れば二度と人の子を殺しませんから、どうかブンガラの居場所を教えてください」お釈迦様は鉢の底のブンガラを見せました。鬼子母は神通力を用いてブンガラを出そうとしますがどうしても出すことができません。

「お釈迦様、どうか我が子をここから出してください。お願い申し上げます。」
「鬼子母よ、これからは仏の教えと仏と僧に信心の誠をささげ、生き物を殺さず、盗みをせず、うそをつかないことを守り続けることができるか」

「はい。必ず守り続けることを誓います」
こうして鬼子母はお釈迦様の弟子となりました。邪神であった鬼子母は仏さまにより善神となり、人々から鬼子母神とあがめられるようになりました。日蓮宗では鬼子母神を法華経と法華経の信者の守護神としてお祀りいたしております。仏さまの教えによって修行精進すれば鬼も悪魔も仏になれるのです。

★妙法蓮華経授記品第6 じききほん 「無有魔事 むうまじ 雖有魔及魔民 すいうまぎゅうまみん 皆護佛法 かいてぶつぽう」
「魔及び魔民ありといえども皆佛法を護らん」
の経文に関連するお話でした。

大切なお知らせ

このたび、白アリ被害と老朽化によって落ちそうになっていた本堂、床下の修繕と改修を行うにあたり、お檀家さまのご厚情に心より感謝いたしております。ご寄付をお預かりした方には正福寺より領収書を送付させていただきますいております。ご寄付をお預かりした方の中で、振込用紙にお名前が記入されていない方がおられました。心あたりの方、または、送金したのにまだ領収書が送付されてきていない方がおられましたらご遠慮なく、お寺にご一報ください。よろしくお願い申し上げます。

台掌

お年玉プレゼントクイズの答え・・・令和5年はワザギヤ

点つなぎの答え・・・サクラ